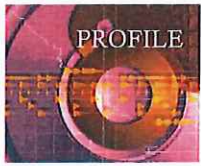


吉川 (きっかわ) よしひろ の紹介

世界でも数少ない即興チェリスト吉川よしひろの奏でる“一人チェロの世界”は、想像を超えた世界が広がる。その世界はジャズ・クラシック・民謡・ヒーリングミュージックのボーダーを超えたオリジナルなサウンドだ。

生まれつき左耳が聞こえないという音楽家には致命的なハンディの障がいを持って生まれた中、「夢」を諦めず、音楽家になりたいという「夢」を叶え、一人で奏でるそのチェロの音色が、オーディエンスと共にそこに流れる空気を、温か(あたたか)色(いろ)で膨らませ、いつしかホッと癒され、自分が元気になっていくことに気づくのかもかもしれません。



吉川 よしひろ
Yoshio Kikkawa

山形県鶴岡市大山出身、A.N.Music School 卒業後、有名トップ歌手のツアーサポートをするかわら、スタジオミュージシャンとして様々なアーティストのレコーディングに参加。

1993年 サンフランシスコ・サークルシアター、ロサンゼルス・ドロシー・チャンドラー・パビリオン公演参加

1994年 NYリンカーンセンター公演参加

※近年、世界でも数少ない JAZZ・ヒーリング音楽を融合させた即興チェリストとして、
渡辺香津美(G)グループのコンサート及び日本国内数々の JAZZ フェスティバルに参加。

2003年2月 アメリカ政府公認のアーティスト・ビザ取得後、ニューヨークを拠点に本格的に活動する。

その後 NYと日本を頻りに往來しながら、アメリカ国内・日本国内・世界各地での積極的な音楽活動を展開。

2004年 アメリカ・NEW DIRECTIONS CELLO ASSOCIATION 会員登録後日本人初の他国際派チェリストと、その名を連ねる。NY・ブルックリン TV スタジオ <Bcat> 音楽 TV 番組「ウェルカム・アボードドライブ」に日本人として初ゲスト出演・生演奏。

2005年4月 マンハッタン・聖ステファン教会(69th)にて本格的コンサート開催、称賛を浴びる。この公演を聞きに来ていた、故エルビス・プレスリーのアルバム制作・作曲家“プロデューサー”音楽担当で活躍をした大御所ノーマン・ブラックマンに大称賛を得る、また、彼の新曲「Mello Cello」の NYレコーディングに抜擢される。

オーストラリア・5公演。オーストラリア国内紙に「彼は革新的な JAZZ チェロ奏者である」とクロニカル新聞にカラー写真入りで大きく掲載され、話題を呼ぶ。

プリンスベーン市2箇所の JAZZ CLUB では満場の聴衆から大喝采を頂く。

9月“West NY Gosen Jazz Fes05”に日本人初ゲスト出演、斬新なチェロ手法に満場の聴衆は勿論、出演者達からも大絶賛を得る。2006年 NHK 総合テレビよりドキュメンタリー番組『自由にチェロを奏でたい』が1時間30分にわたり放送され、反響を呼ぶ。(再放送は東北6県)

6月アメリカワシントン DC・ケネディセンター公演で喝采を得る。7月アメリカ西海岸サクラメント市で開催された“ニューディレクションズ・チェロフェスティバル 06”に日本人として初ゲスト出演!

2007&2008年 豪華客船 飛鳥IIにゲスト出演、世界の海を渡る。

2009年 第81回米アカデミー賞 外国語映画賞 受賞「おくりびと」原作者・青木新門先生と共に講演。

現在、日本全国の福祉施設での慰問演奏の実体験を話す講演も大好評を得、積極的に活動中。